

早期水稲における黄萎病の感染時期について

馬場口勝男・原 敬一・脇 慶三

(鹿児島県農業試験場)

BABAGUCHI, K., HARA, K. and WAKI, K.

Infection Period of the Yellow

Dwarf Disease in Early Seasonally Cultured Rice

1963年に一部報告したところであるが、その後更に
検討を行なつて来たので、その概要を報告する。

方法並びに結果の概要

毎年3月下旬に播種して4月上旬に除紙し、4月、
20日に田植(1株1本)した早期水稲に、苗代時期か

1. 圃場における感染時期試験

第1表 保毒ツマグロヨコバイの放飼感染時期と稲二番芽の発病との関係(1962)

区 別	加 害 期 間		供試株数	二 番 芽		供試虫の採集場所
	自	至		発病株数	発病株率 %	
無苗	—	—	162	0	0	休 閑 田 " " " " 早 期 苗 代 早 期 本 田 普 通 苗 代 " " " " 普 通 本 田 自 然 加 害
4 月 代 加 害	4 月 10 日	4 月 20 日	153	4	2.6	
4 月 下 旬 "	20	30	158	21	13.3	
5 月 上 旬 "	2	12	160	21	13.1	
5 月 中 旬 "	12	22	162	61	37.7	
5 月 下 旬 "	22	1	162	33	20.4	
6 月 上 旬 "	1	11	162	0	0	
6 月 中 旬 "	11	21	162	0	0	
6 月 下 旬 "	21	1	162	0	0	
7 月 上 旬 "	3	11	162	0	0	
7 月 中 旬 "	11	21	162	2	1.2	
7 月 任 意	4 月 10 日	8 月 7 日	162	16	9.9	

注. 刈取り 8月7日 二番芽調査 8月16日

第2表 保毒ツマグロヨコバイの放飼感染時期と稲二番芽の発病との関係(1963)

区 別	加 害 期 間		供試株数	二 番 芽		供試虫の採集場所
	自	至		発病株数	発病株率 %	
無苗	—	—	108	0	0	農 試 隣 接 休 閑 田 早 期 苗 代 場 内 " " " " 早 期 本 田 " " " " 普 通 苗 代 " " " " 予 察 灯 附 近 " " 自 然 加 害
4 月 代 加 害	4 月 10 日	4 月 20 日	108	10	9.2	
4 月 下 旬 "	20	1	107	2	1.8	
5 月 上 旬 "	1	10	108	9	8.3	
5 月 中 旬 "	10	20	105	25	23.8	
5 月 下 旬 "	20	31	108	0	0	
6 月 上 旬 "	31	10	108	0	0	
6 月 中 旬 "	10	20	108	0	0	
6 月 下 旬 "	20	30	105	0	0	
7 月 上 旬 "	30	10	108	0	0	
7 月 中 旬 "	10	20	108	0	0	
7 月 任 意	4 月 10 日	7 月 27 日	108	34	31.4	

注. 刈取り 7月27日 二番芽調査 8月27日

第3表 保毒ツマグロヨコバイの放飼感染時期と稲二番芽の発病との関係(1964)

区 別	加 害 期 間		供試株数	二 番 芽		供試虫の採集場所
	自	至		発病株数	発病株率 %	
無苗	—	—	130	0	0	農 試 隣 接 休 閑 田 " 自 然 加 害
4 月 代 加 害	4 月 10 日	4 月 20 日	108	16	4.8	
4 月 下 旬 "	20	30	119	2	1.6	
5 月 上 旬 "	30	10	121	2	1.6	
5 月 中 旬 "	10	20	124	5	4.0	
5 月 下 旬 "	20	31	124	0	0	
6 月 上 旬 "	31	10	123	18	14.6	
6 月 中 旬 "	10	20	126	47	37.0	
6 月 下 旬 "	20	30	132	3	2.2	
7 月 上 旬 "	30	10	130	0	0	
7 月 中 旬 "	10	20	139	0	0	
7 月 任 意	4 月 10 日	8 月 8 日	133	72	54.1	

注. 刈取り 8月8日 二番芽調査 9月8日

より厳寒期が高温で春暖の年には、かならずしも越冬
虫の生存期間とは一致せず、苗代期から6月下旬まで
殆んど毎旬発病がみられるようになり年により変動す
るが、暖冬に基づく黄萎病り病茎の越冬後における再
生芽時期の早晩多少が、関係しているように推察され

る。

参 考 文 献

- 1) 馬場口勝男, 糸賀繁人 (1963)
九州病害虫研究会報 Vol. 9
- 2) 新海昭 (1960) 植物ウイルス病

